財団法人 日本ハンドボール協会編　平成23年 9月1日発行(毎月1回1日発行)　通巻521号　昭和40年6月7日第3種郵便物認可

ハンドボール

9
SEP.2011・No.521

特集

第16回ヒロシマ国際大会
第1回全日本社会人選手権大会
第31回全国クラブ選手権東・西地区大会

[表紙写真：ヒロシマ国際大会、日本代表・上町史織選手]

財団法人 日本ハンドボール協会
http://www.handball.jp/

大勢の力で

(財) 日本ハンドボール協会 常務理事　大橋 則一

日本ハンドボール界、悲願のオリンピック出場…ここ数年ずっと言い続けてきた言葉であり、何度となく耳にされた言葉だと思います。ご承知のとおり、ソウルオリンピック以降、日本はオリンピックの舞台に立つことが出来ず、今日に至っております。前回の豊田市での予選、日本中がハンドボールに注目した代々木体育館での再予選。あれから4年間、日本協会は「強化にベクトルをあわせ」普及、指導等においても「強化」に繋がる事を念頭に取り組んで参りました。10月に女子は中国で、男子は韓国で開催されるアジア予選において、「今度こそ出場権獲得を!!」と願ってやみません。オリンピック出場に向け、自分が今すべき事をしっかりと取り組んで参ります。

ご承知のとおり本年度より従来の紙での登録からWEBを利用した登録へとシステムを変更しました。初年度ということもあり、皆様にはご迷惑をかけたこともあるかと思いますが、より良いシステムにして行くよう今後も取り組んで参ります。ここでWEB登録のメリットについて若干ご説明させていただきます。まずは、登録の迅速化と正確性の向上です。従来の登録は、一旦都道府県協会で届出書を取り纏め、日本協会へといった流れでした。しかも書類の受渡しは郵送が主でしたので、今回の導入で、時間と費用の削減、業務の軽減が出来ました。登録する皆様におかれましてもこの迅速化は大きなメリットであると思っております。今後はこのシステムを利用し、サービス向上に繋がるよう取り組んで参ります。

さて、ハンドボールのテレビ、新聞、雑誌等メディアへの露出は、より多くの人々にハンドボールを知ってもらうために必要であり、ハンドボールのバリューを上げるためには非常に大切なことであります。日本協会としては、日々メディアへ働きかけ、取材についても積極的に協力をしております。年間を通じては、12月に開催される全日本総合選手権大会での男子決勝、3月に開催される日本リーグプレーオフが放映されております。最近では、日本テレビの「笑ってコラえて」で高校生チームが、NHKでは男子日本代表の話題が放映されております。撮影及び取材の方々から「こんなに面白かったんですか」といったお話を多々伺うたびに、まだまだ働きかけが足りないと反省しております。引き続きハンドボールの露出が増えるよう積極的に活動して参ります。と同時に、皆様にぜひご協力いただきたい事があります。それは、皆さんからもテレビ局、新聞社等メディアに対し、ハンドボールの露出について訴えてほしいのです。20万人会では、サポート会員、登録者で11万人以上の方々がハンドボールの財産としていらっしゃいます。大勢の方々の声が力になります。ぜひ、今後ともハンドボール発展のため、皆様のお力をお借りしたくよろしくお願い申し上げます。

第16回 ヒロシマ国際 ハンドボール大会

■最終順位
優勝：日本代表
2位：広島メイプルレッズ
3位：大阪体育大学
4位：KIF Vejen (DEN)

■個人表彰
最優秀選手賞　上町 史織（日本代表）
優秀選手賞　植垣 暁恵（日本代表）
マイダ・アルスラナジッチ（KIF Vejen）
菅野 喜恵（広島メイプルレッズ）
河田 知美（大阪体育大学）

第16回ヒロシマ国際ハンドボール大会を終えて

広島県ハンドボール協会理事長　山本　一

1994年の広島アジア競技大会のメモリアル大会として、翌年から開催されているヒロシマ国際ハンドボール大会も今年で16回目を迎えました。（2003年はSARS騒動の為中止）原則として男女の大会を交互に行っており、今年は女子の試合でした。

ロンドンオリンピック出場を目指している黄慶泳日本代表監督の意向もあり、アジア予選の仮想敵として体の大きいチームということでヨーロッパのクラブチームデンマークのKIF VEJENを招聘しました。今回は東日本大震災、東京電力福島原発の放射能漏れの影響もあり、なかなかチームが決まらずやきもきしました。いつもはアジアから参加してくれる中国、韓国はやはり10月のアジア予選で直接対戦するということもあり招聘を控えました。

参加チームはKIF VEJEN、日本代表、大阪体育大学と地元の広島メイプルレッズの4チームでした。アジア予選を控え強化合宿練習を続けている日本代表にとって実戦での試合は強化の為にも欠かせないと思います。KIF VEJENチームの2010年の成績は、国内リーグ4位、ヨーロッパカップではベスト8でした。チームの平均身長は約175㎝、体重は約65.5㎏で、長身を活かしたプレーに期待しました。大阪体育大学は闘将楠本繁生監督に率いられ、今年の春の関西リーグを制したスピード豊かな若さあふれるチームです。広島メイプルレッズはここ数年間はリーグ戦4位にも入れず低迷していましたが、呉成玉選手兼監督のチームへの復帰とともに復活の兆しを見せてくれています。

暑い中での大会となり選手の皆さんはコンディションの調整には苦労されたことと思います。公式行事は21日に代表者会議、広島県体育協会、広島市スポーツ協会、日本協会、広島県協会役員及び協賛各社の方の参加による開会式行いました。22日には松井一實広島市長を日本協会、広島県協会、広島市協会及び参加チーム代表者が市長公室を表敬訪問しました。

試合の方は、デンマークチームが長旅の疲れか全敗に終わるなどしましたが、順調にスケジュール通り消化できました。

大会初日は金曜日ということもありお客さんが少なかったですが、最終日の日曜日は午前中ジュニアの試合を組んだりした為、満員の中での試合となりほっとしたものです。暑い中、足を運んでくださったハンドボールファンには感謝の気持ちで一杯です。

試合の結果及び表彰選手は別記の通りです。

最終日には表彰式及びサヨナラパーティをデンマークとゆかりのある広島アンデルセンで行ないました。サヨナラパーティでは大阪体育大学の選手達が先陣を切ってのパフォーマンスで座を盛り上げてくれました。その後各チームが競うように余興をしてくれ会が最高潮となったところで中締めとなり大会の幕を閉じました。

最後に大会を開催するにあたり、広島県、広島市をはじめ各方面から多大な協力を賜りましたことに感謝し、男女日本代表にはなんとしてもオリンピックアジア予選を突破し悲願を達成していただきたいものです。

【大阪体育大学の出場について】

今年のヒロシマ国際大会は様々な影響で、参加チームの決定が直前までずれ込みました。ぎりぎり日本代表、デンマーク、広島メイプルレッズの3チームが決定の後、大会のスケジュール上、是非1日2試合を行い、大会を盛り上げたいとの要請があり、日本協会が選定を一任された。その後、全日本学連と、学生チームを出場させる方向で調整に入り、全日本選抜、西日本選抜を基本に検討したが、チーム編成に時間がかかる為断念した。

結論として、全日本学連の意見もいただき、関西学連春季リーグ1位の大阪体育大学を選定し、出場依頼を行った。

試合結果・戦評

■1日目：7月22日（金）

日本代表　28（16-12、12-14）26　広島ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ

悲願のオリンピック出場を目指し、強化を進める日本代表を迎えてのヒロシマ国際大会初日、対するは地元メイプルレッズ、オリンピックの申し子、呉成玉の復帰で、チーム力は上り調子、好ゲームが期待できる。両チームとも6－0ディフェンスを高めにひき、厳しく守り、6分まで3対3と互角の立ち上がりを見せる。呉のリードから宋、菅野らが勢いよく打ち込み、中盤まで日本代表をリード、常に日本代表が追いかける展開で15分まで8対7。ようやく22分過ぎ、メイプルの退場を機に、追いつき逆転、12対11。日本代表は退場者を出すが、田代の好セーブもあり、得点を重ね15対12とリードを広げる。前半16対12、日本代表が4点リードで折り返す。

後半も、出だしから前半終了の勢いを継続した日本代表は得点を重ね、20対13と一気にリードを奪うが、メイプルも粘りを見せる。日本代表のミスをついて、4連取、10分過ぎには20対17、12分過ぎに18対20と2点差に詰め寄る。メンバー交代を繰り返し、立て直しを図るが、リズムに乗れない日本代表は苦戦を強いられる中、石立のカットイン2連取で、20分まで25対22。終盤に入っても緊迫した展開が続き26分まで26対24と日本代表がわずかにリードを保つ。メイプルは最後まで粘りを見せるが、力及ばず28対26。日本代表が逃げ切った。

大阪体育大学　25（13-8、12-9）17　KIF Vejen

本場ヨーロッパのデンマークリーグ5位の強豪KIFと関西学生リーグの女王、大阪体育大学との一戦。

身長で劣るものの、すばやい動きから思い切りのいいシュートで得点を挙げる大体大が序盤7分まで3対1とリードする。攻撃のリズムが噛み合わないKIFを尻目に、速攻、ポストと得点を重ねる大体大が15分まで8対4とリードを広げる。その後も積極的なディフェンスから、速攻を繰り出し、さらにリードを広げ、25分には13対5と差は8点に。粘りを見せるKIFもようやく連続得点、3連取で8対13、5点ビハインドで折り返した。

後半に入って、大体大は出だし速攻から高山らの得点で3連取、16対8と主導権を奪い返す。勝利に執念を燃やすKIFは、積極的に攻撃をしかけるが、大体大の高いディフェンスに対応できないまま中盤へ、16分まで19対12と7点差。一進一退の攻防が続く中、大体大は巧みなディフェンスとゴールキーパーの踏ん張りと、田邊のサイドシュートで徐々に点差を広げ24分には23対14と9点差、主導権を渡さない。最後まで、集中力を切らさず攻めきった大体大が勝利を収めた。最終スコアは25対17。

■2日目：7月23日（土）

日本代表　27（13-5、14-8）13　大阪体育大学

植垣のミドルシュートで先制した日本代表はディフェンスで大体大を序盤から圧倒。大体大はチャンスは作るもののゴールキーパー藤間の攻守に阻まれ得点をあげることができない。10分48秒無得点のまま6点差がついたところで大体大はタイムアウトを要求、嫌な流れを断ち切ろうとしたが、苦しい展開が続いた。日本代表は16分過ぎまで攻撃を無得点に抑えるディフェンスを見せるものの攻撃の精度に課題を残し、思ったように得点を積み重ねることができなかった。前半は13対5の日本代表が大量8点リードをするものの、

日本代表の攻撃に消化不良の感が否めない前半であった。

後半に入っても攻撃の歯車が噛み合わない日本代表に大体大は互角に渡り合い健闘を見せるが、前半のビハインドを跳ね返すには至らず27対13で日本代表が勝利を収めた。試合は敗れたものの、日本代表のシュートを再三の攻守で阻んだ大体大ゴールキーパー陣の健闘が光った。

広島ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ　25（14-8、11-9）17　KIF Vejen

一人ひとりの高さとパワーにものをいわせ攻撃をするKIFに対し、メイプルレッズは速いパス回しからコンビネーションを使った攻撃で対抗する。速い動きに対応しきれないKIFに対し、速攻や確実にノーマークを作って得点を重ねていくメイプルレッズだが、単調な攻めにもかかわらずKIFにパワーで押し切られてしまい、思うようにディフェンスが機能しない。リードはするもののなかなか波に乗り切れず、前半を14対8のメイプル6点リードで折り返した。

後半に入りまずKIFが試合のペースを掴んだ。メイプルは後半8分までに2人の退場者を出す苦しい時間帯を相手のシュートミスに助けられ乗り切るとプレスディフェンスから相手のミスを誘い出し、次々に得点を重ね、11点差まで得点差を広げた。試合終盤メイプル五月女にマンマークをつけられリズムを崩しかけたが、プレスディフェンスに対応できないKIFに速攻で対抗し、25対17で広島メイプルレッズが勝利を収めた。

■最終日：7月24日（日）

広島ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ　37（20-8、17-12）20　大阪体育大学

広島メイプルレッズは多彩な攻撃で大体大ディフェンスを翻弄。序盤から試合の主導権を握る。大体大は9分過ぎに早くもタイムアウトを要求、試合の立て直しを図った。しかし、試合の流れはメイプルに傾いたまま、ポストシュートやミドルシュート、サイドシュート、速攻と速いパス回しから次々に得点チャンスを演出、得点差を広げていった。大体大も懸命に足を動かし反撃を試みるが、メイプルディフェンスの壁は厚く、試合は一方的な展開になった。前半は20対8のメイプル12点リードで折り返した。

後半に入ると両者とも一歩も引かない互角の展開を見せる。大体大は3河田がパスにシュートに活躍。メイプルディフェンスを脅かすが、要所でメイプルの攻撃を防ぎきれず、得点差が縮まらない。18分55秒ペナルティースローを怪我から復帰のメイプル17新城が決め得点差は15点となった。その後もメイプルの優位は変わらず、試合は37対20でメイプルレッズが快勝した。

日本代表　32（18-12、14-9）21　KIF Vejen

日本代表はスピード感あふれる攻撃を展開、序盤の流れをしっかりと掴んだ。日本代表のスピードについていけないKIFは開始10分早くも日本代表10藤井にマンマークをつけ状況の打開を図る。高さを生かしたいKIFだがロングシュートの精度がいまひとつと苦しい展開になった。フリースローからのロングシュートが決まり始めたKIFであったが点差は縮まらない。24分35秒7点差となったところでKIFはタイムアウトを要求。しかし試合の流れを変えるまでには至らず、前半は18対12の日本リードで終了した。

後半が始まっても日本の優位は変わらない。後半開始から4連取で一気に突き放しにかかるが、KIFもロングシュートやポストシュートで4連取と簡単には引き下がらない。後半は互角の攻防が続いた。結局前半のリードが大きく、32対21で日本代表が勝利を収め、大会の優勝を決めた。

高松宮記念杯

第1回 全日本社会人ハンドボール選手権大会

最終順位

■男子	■女子
優勝：大同特殊鋼	優勝：北國銀行
2位：トヨタ車体	2位：オムロン
3位：大崎電気	3位：広島メイプルレッズ
4位：トヨタ紡織九州	4位：ソニーセミコンダクタ九州
5位：湧永製薬	5位：香川銀行T・H
6位：北陸電力	
7位：豊田合成	
8位：Honda	
9位：琉球コラソン	
10位：トヨタ自動車	
11位：HC山口	
12位：セントラル自動車	

大会を振り返って

全日本社会人ハンドボール連盟理事長　朝生 和光

皆さんもご存じのとおり、今年4月に「全日本社会人ハンドボール連盟」を立上げ、実業団以外の社会人チームにも広く参加をして頂けるよう、大会名も「全日本実業団選手権大会」から「全日本社会人選手権大会」と改称し、「第1回の記念大会」を北海道・函館で開催致しました。

また、今大会は、東日本大震災チャリティおよび男女ナショナルチームのロンドンオリンピック予選への応援イベントも含まれており、各都道府県ハンドボール協会ならびに大会関係者の皆様方、ご協賛頂きました企業様、他数多くの方々のご尽力・ご協力の賜物であり心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、第1回の記念大会は男子12チームの参加、女子5チームの出場となり、男子は昨年度優勝の大崎電気、準優勝の大同特殊鋼、3位のトヨタ車体、4位の湧永製薬をシードとし、予選トーナメントを勝ち上がった4チームによる決勝リーグ戦、女子は総当たりリーグ戦を行い優勝を争いました。

大会の内容については、男子決勝リーグは予選を勝ち抜いた大崎電気、大同特殊鋼、トヨタ車体、トヨタ紡織九州の4チームでの優勝争いとなり、男子ファイナルは全勝の大同特殊鋼と1勝1敗の大崎電気。勝点で優位の大同特殊鋼と勝利が優勝条件となる大崎電気は、試合開始早々大崎電気のペースでゲームが進むものの、大同特殊鋼も末松を中心に徐々に加点し前半を同点で終了する。後半に入っても両チーム譲らず一進一退の攻防が続いた結果、同点で試合終了となり、大同特殊鋼が第1回大会優勝の栄冠を獲得しました。

女子につきましては、昨年準優勝の北國銀行が着実に白星を重ね、そのまま4戦全勝での完全優勝となりました。

男女いずれの試合を振り返っても大変見応えのある白熱したゲームであり、観戦に来て頂いたファンの皆様に大きな感動を与えてくれたのではないかと感じております。

この度の大会は今年度最初のビックゲームでありましたが、今後の最大の焦点はロンドンオリンピックアジア予選であり、予選は男子が韓国、女子が中国で開催されます。1988年のソウルオリンピック（男子出場）以来の出場を目指して代表選手は日々厳しい調整に取り組んでおりますので、皆様の絶大なる応援をお願い致します。

最後になりますが、今後のハンドボールの発展のため、「全日本社会人ハンドボール連盟」としても、種々の施策を模索しながら貢献して行く所存ですので、これまで以上のご支援・ご鞭撻をお願いしながら、大会終了の報告とさせて頂きます。

男子優勝：大同特殊鋼

大同特殊鋼ハンドボール部監督　清水 博之

写真提供（3点共）：スポーツイベント社

はじめに、高松宮記念杯第１回全日本社会人ハンドボール選手権大会を開催するにあたり、ご尽力頂きました全日本社会人ハンドボール連盟をはじめ日本ハンドボール協会、地元北海道ハンドボール協会、ならびに関係各位の皆様に改めて、心より厚く御礼申し上げます。

この度、高松宮記念杯第１回全日本社会人ハンドボール選手権大会の記念すべき第１回大会で優勝を果たすことができ非常に嬉しく思っております。

これも一重に日頃から大同特殊鋼ハンドボール部を支えて下さっているチーム関係者の皆様を始め、多くのファンの方々の力があってこその結果だと思います。

また選手がチームのスローガンでもあります「one for all all for one」１人はみんなの為にみんなは１人の為にを胸に闘い続けた結果でもあります。

全日本社会人選手権優勝という最高のスタートをきることができましたが、この結果に満足することなく、日々向上心を忘れずこれからも勝ち続けることができるよう選手共々頑張りたいと思います。

今後とも大同特殊鋼ハンドボール部に変わらぬご声援を宜しくお願い致します。

女子優勝：北國銀行

北國銀行ハンドボール部監督　荷川取 義浩

写真提供（3点共）：スポーツイベント社

はじめに、高松宮記念杯第１回全日本社会人ハンドボール選手権大会の開催にあたり、ご尽力を頂きました全日本社会人連盟並びに日本ハンドボール協会、開催地であります北海道ハンドボール協会、函館ハンドボール協会の関係各位の皆様方に心より感謝申し上げます。

３月 11 日に起きた未曾有の東日本大震災の犠牲者の方々に深く弔意を表し、被災者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。また、１日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

被災地の皆様のみならず全国にハンドボールを通して、元気と勇気を与えるべく、チーム一丸となり精一杯のプレーを展開した結果、記念すべき高松宮記念杯第１回全日本社会人ハンドボール選手権大会に優勝することが出来ました。

これも一重に日頃より応援して頂いていますサポーターの皆様、地元石川県ハンドボール協会の皆様、そして、米谷オーナー・深山会長・安宅頭取をはじめとします役員・行員の皆様方のご支援・ご声援のお蔭だと思います。この場をお借りしまして、心より御礼申し上げます。

リーグ戦で行なわれた今大会、主力選手の引退等もあり、不安な面も多々ありましたが、初戦の広島メイプルレッズ戦から最終戦のソニーセミコンダクタ九州戦まで、粘り強い戦いが出来、記念すべき第１回大会を全勝で優勝しました。

この結果に満足することなく、更なる高みを目指して精進する事をお誓い申し上げますと共に変わらぬご支援・ご声援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

第31回 全国クラブハンドボール選手権大会・西地区大会

《最終順位》
男子：1位：総社クラブ（岡山）
　　　2位：ホンダ熊本（熊本）
　　　3位：三重ホンダクラブ（三重）
女子：1位：レキオクラブ（沖縄）
　　　2位：OCEAN（愛知）
　　　3位：ナデシコクラブ（奈良）

大会を振り返り

静岡県ハンドボール協会総務委員・大会役員　鈴木 健一

平成23年7月15日～17日、梅雨も明けて日に日に夏の暑さが増す中、静岡県袋井市において、第31回全国クラブハンドボール選手権大会が開催されました。前年同様、各ブロック（東海・近畿・中国・四国・九州・開催地）代表の男子12チーム、女子8チームが出場しました。

来る平成25年には、静岡県にて「全国高等学校選抜大会」が開催されます。県を挙げての準備が着々と進み、ハンドボールへの競技熱もますます高まってきている中での今大会の開催となりました。

また、今大会は、東日本大震災復興支援として「届けようスポーツの力を東北へ！」を合言葉に開催され、前年以上の熱戦が繰り広げられるとともに、選手のスポーツに対するひたむきさを改めて感じる大会となりました。

大会と同日に、同施設内にてJリーグの試合や、近隣施設においては、チャリティーコンサートがあったこともあり、遠くから足を運んでいただいた選手の皆さん、関係者の方々には宿泊施設や駐車場の確保にご苦労をお掛けしてしまいました。翌7月16日より競技が開始され、男子は3チームずつの4ブロックに分かれての予選リーグ、女子はトーナメント戦による準決勝までが行われ、どれも白熱した試合が展開されました。最終日の7月17日は決勝トーナメントのほか、順位決定戦が行われました。

男子準決勝の三重ホンダクラブ（東海）対総社クラブ（中国）は一進一退の攻防が続き、第一延長で決着がつかず7mTCの末、総社クラブに軍配が上がりました。もう一試合の下松クラブ（中国）対ホンダ熊本（九州）も両チーム譲らず、第一延長の末、ホンダ熊本が勝ちました。決勝は総社クラブが準決勝の激戦を制した勢いのまま、ホンダ熊本を下し、初優勝を飾りました。

女子決勝のOCEAN（東海）対レキオクラブ（九州）は、前半序盤よりOCEANが主導権を握り、リードする展開となりました。後半中盤に入り、レキオクラブが7分で7点を連取し、互角の試合展開となりました。前後半では決着がつかず、延長の末、レキオクラブが優勝を飾りました。

男子準決勝の2試合、女子決勝が延長戦になるなど、全国トップレベルのプレーヤーによる白熱した試合が数多く見られました。

今大会の開催にあたり、関係各位のご協力により無事に大会を終えることができました。心より感謝いたしております。

【戦 評】

■男子決勝

総社クラブ　32（14-7、18-11）18　ホンダ熊本

準決勝で下松クラブ（中国）を第一延長の末、振り切ったホンダ熊本（九州）と三重ホンダクラブ（東海）を第一延長、7mTCという激戦を制した総社クラブ（中国）の決勝カードとなりました。

ホンダ熊本のスローオフで試合が始まり、準決勝の疲れがみえるホンダ熊本に対し、準決勝での勢いそのままの総社クラブは序盤から11番岡田・13番本多が立て続けにシュートを決めると、中盤以降は10番村田の連続得点で一気に突き放し、前半を14対7で折り返す。

後半に入っても総社クラブの勢いは止まらず、序盤で11番岡田の5得点を含め、7連続得点でさらに点差を広げる。中盤から終盤にかけて、ホンダ熊本も11番作田・13番井上・15番坂村などの得点で追い上げをみせるものの、結局32対18で総社クラブが勝利した。総社クラブは悲願の初優勝を果たし、選手・チーム関係者は歓喜に沸いた。

■女子決勝

レキオクラブ　32（10-15、15-10、2-2、5-3）30　OCEAN

初戦は香川レディース（四国）、準決勝は金曜クラブ（近畿）とともに強豪を相手に1点差ゲームを制し、勝ち上がってきたOCEAN（東海）と攻守ともに安定した力で勝ち上がってきたレキオクラブ（九州）との決勝となりました。

レキオクラブのスローオフで試合が始まり、序盤からOCEANは3番西野にボールを集め、レキオクラブを翻弄し、7連続得点など中盤までに9点差をつけ、試合の主導権を握る。その後、レキオクラブも8番佐久川の3連続得点で追い上げ、前半は15対10でOCEANのリードで折り返す。後半に入り、疲れのみえはじめたOCEANに対し、レキオクラブは8番佐久川・11番伊波のシュートが決まりはじめると、中盤に猛攻撃の7連続得点で一気に試合をひっくり返す。流れをくい止めたいOCEANも3番西野・7番田嶋を中心に得点を重ねる。一進一退の攻防が続き、気がつけば25対25の同点で延長に突入する。延長に入っても目の離せない展開が続いたが、最後はレキオクラブの15番伊良波の決勝シュートで、レキオクラブが15年ぶり2回目の優勝を果たした。

男子優勝：総社クラブ

主将　窪津 智之

平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、その混乱の中、静岡県袋井市で開催されました西日本クラブ選手権の運営にご尽力して下さった方々に厚く御礼を申し上げます。

私たち総社クラブは平成6年に創部以来17年間活動を続けています。本大会は過去二回決勝まで駒を進めながら、いずれも準優勝でありました。今年こそはという思いでしたが、メンバーは仕事や学業のため時間が合わず、練習に人が集まらない状況が続き、満足な練習は全く出来ていない状態で大会を迎えました。

何とか予選リーグを勝ち進み、決勝トーナメントまで駒を進めましたが、三重ホンダクラブやホンダ熊本といった元実業団チームとの2連戦は厳しい試合となり、特に準決勝の三重ホンダクラブ戦は前半に一時6点差をつけられ、あきらめかけた時もありましたが、何とか奮起し同点に追いつき、延長・7mTCの末勝利することが出来ました。ここで競り勝てたことはチームとしても個人としても大きな自信につながったと思います。

チームのモットーは「守って速攻」ですが、今大会はキーパーを中心に皆で粘って守れたことが、勝利に繋がったのだと思います。決勝も体力的にはきつい中、準決勝で勝てたモチベーションとディフェンスを維持できたことが優勝に結びつきました。

岡山県はハンドボールが強いというイメージもなく、「総社」の読み方も分からない人が多いと思います。会場でも勝ち進むにつれ、「何県？」「そうしゃ？」といった声も聞こえました。この優勝を機に多くの人に岡山県の総社（そうじゃ）というチームを知ってもらえることが出来たなら幸いです。

社会人と学生のチームですので、練習不足や考え方の違いは否めませんが、ここからまた次のステージへ向かってチーム一丸となり頑張って行こうと思います。クラブを設立してくださった安田監督を始め、これまでチームを支え、プレーされていた先輩に感謝し、チームメイトとともに優勝の喜びを分かち合いたいと思います。

最後に、今大会を支えてくださいました関係者の皆様には心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

女子優勝：レキオクラブ

赤峯 真樹子

この度、第31回全国クラブハンドボール選手権大会西地区大会におきまして、優勝することができましたことを大変嬉しく思います。沖縄県ハンドボール協会をはじめ、日頃から私達の活動にご理解いただき、ご支援いただいている全ての方々のおかげであると深く感謝しております。

5月に鹿児島で行われました、クラブ選手権九州大会におきまして、準決勝で敗れてしまいジャパンオープンの出場権を逃してしまいチームとして非常に悔しい思いをしました。しかし、目標を『全国クラブハンドボール選手権大会西地区大会優勝』に切り替え、心機一転練習に取り組んできました。

一般のチームということで、なかなか全員揃っての練習は難しいのですが、東江正作監督がいつも「それぞれの出来る範囲の中で頑張ればいい」と言ってくださり短時間で内容の濃い練習メニューを組んでくださるおかげで、少ない人数でも充実した練習をすることができています。

そして臨んだ今大会、初戦から気合を入れて試合に挑みましたが、思うようにいかない展開が続きましたがどうにか決勝まで進むことができました。「絶対に優勝しよう」と臨んだ決勝戦は前半からペースがつかめず、ミスが続き、一時は9点差までつけられてしまいましたが、「普段どおりのことが出来れば必ず追いつく」と思い、お互いに声を掛け合って、必死に守り、1点1点と積み重ねていきました。後半になんとか追いついたのですが、また追いつかれ、勝負は延長戦までもつれました。延長戦終了の笛がなった時には、チームみんなで跳びあがって勝利を喜び合いました。

「諦めないとこの大切さ」や「ハンドボールの楽しさ」を再確認することの出来た意義深い大会となりました。

最後になりましたが、今大会の運営に携わってくださった役員の方々や補助員の皆さんに深く感謝いたします。ありがとうございました。

第31回 全国クラブハンドボール選手権大会・東地区大会

《最終順位（会長杯）》
男子　優勝：渡辺組
　　　2位：上送
　　　3位：蓮田クラブ、ラージェスト
女子　優勝：筑波学園クラブ
　　　2位：やんちゃクラブ
　　　3位：SAKURAクラブ、福島クラブ

大会を振り返って

福島県ハンドボール協会事務局広報担当　飯塚 敏章

今年で31回目となった全国クラブハンドボール選手権大会東地区大会。そのうち、16回連続17回目の開催地となった福島県本宮市は智恵子抄に歌われた安達太良山が最も美しく眺望でき、ゆったりと北上する阿武隈川のある自然に恵まれた場所であります。

さる3月11日の東日本大震災では『うつくしま　ふくしま』の愛称で親しまれていた福島県も被災しました。地震よる家屋の倒壊や道路の損傷であれば復旧に時間を要しなかったと思いますが、津波や福島第一原発による放射能漏れが事態を深刻化させ、未だ収束する見込みがありません。

このような状況下、今大会を開催できましたことは日本ハンドボール協会をはじめとする関係者の皆さま、そして各ブロックの予選を勝ち抜いたチーム・監督・選手の皆さまの協力があってのことだと思います。誌面上ではございますが、心より感謝申し上げます。

さて、前年度優勝した男子・学石クラブ（福島）、女子・青森クラブPink（青森）が参加できなかったのは寂しいところでありますが、今回の全国大会に出場したチーム（男子16チーム、女子8チーム）を見ると、過去に優勝経験のあるチームが多く出場し、激戦が予想されました。

その出場チームの皆さんから福島県にと、温かいメッセージ入りの国旗をいただきました（書いていた様子は写真でも

お分かりになることでしょう）。本当に嬉しい限りです。ありがとうございましたm(--)m

また、今大会も日本ハンドボール協会公認審判員A級審査会の舞台になったことでより一層緊張感のある大会になりました。全国に通用する社会人チームではハードプレーは当たり前。しかし、勢い余ってのラフプレーには厳しい判定が下されるもの。それもハンドボールの魅力の一つではないでしょうか？

その微妙なプレーを冷静かつ正確にレフェリングする審判員の育成は、ハンドボール競技力向上に必要不可欠な要素であると思います。今回も審判審査指導委員会委員長の越田先生をはじめとする審査員（小友先生・伊藤先生・藤井先生・岸本先生・森山先生）の皆さまが来福され、A級受験生全員に的確なアドバイスをされていました。

会場となった本宮市総合体育館・本宮一中体育館・本宮高校体育館には全国トップレベルのプレーを観戦しようと多くのハンドボール愛好者が集い、選手たちへ熱いエールを送ってくれましたことに、協会一同心より御礼申し上げます。

【戦 評】

■男子決勝

渡辺組　28（14-14、14-13）27　上送

初戦の麻生フェニックス（茨城）との戦いでは1点差逆転勝ちで勢いに乗った上送（山形）は初の決勝進出。

それに対し、1回戦から危なげなく勝ち進んだ2年前に優勝した経験のある渡辺組が対戦。

上送のスローオフで前半が始まり、開始49秒から上送11番山田、15番南條がシュートを決めると、渡辺組もすかさず18番光武（勉）、16番仲田がシュートを決めるなどス

得点王の光武勉選手

ピーディーなゲーム展開となった前半は互いに譲らず、14対14で折り返し。

後半も互いに譲らず、こう着した試合が続くと思われた6分過ぎに渡辺組8番が退場すると、1回目の勝負の山場が訪れた。上送はこの数的優位のチャンスで4番三浦・9番秋葉・11番山田・5番黒坂が4連続得点を決め、渡辺組を突き放す。後半9分を経過したところで、21対17の上送4点リードとなり渡辺組はチームタイムアウト請求。

試合再開後5分が経過した後半14分時点で上送5点リードだったが、ここから渡辺組の反撃が始まり2回目の山場が。組織されたディフェンスで相手シュートをブロックし、そこからの逆速攻で8番鳥山・16番仲田・5番渡辺・18番光武（勉）の4連続得点。点差を1点に縮めると上送も堪らずチームタイムアウトを請求する。

その後、渡辺組の勢いは止まらず渡辺組18番光武（勉）の3連続得点を含む4連続得点で逆転。残り2分で一時上送に追いつかれるも最後は渡辺組7番光武（純）が残り4秒でシュートを決め、渡辺組が2年振り4回目の優勝を収めた。

■女子決勝

筑波学園クラブ　25（12-7、13-9）16　やんちゃクラブ

関東ブロック予選1位の筑波学園クラブと同じく関東ブロック予選2位のやんちゃクラブが準決勝を無難に勝ち上がり、決勝へとコマを進めた。やんちゃクラブは昨年のこの大会で3位入賞したのに対し、筑波学園クラブは過去に2回優勝経験もあり、3年前には準優勝したチーム。同じ関東に所属しているチームなので互いに手の内を知り尽くしていることでしょう。

やんちゃクラブのスローオフで始まった前半、6分経過した時点で3対3とお互い譲らずシーソーゲームの展開へ。関東予選でやんちゃクラブに勝利している筑波学園クラブにとっては思い通りのスタートダッシュではなかったらしく、前半7分の時点でタイムアウト請求。

すると、ゲーム再開後は筑波学園クラブ9番長谷川2得点・13番神徳2得点・10番横島の1得点そして2番岡野（早）の7mが決まり6連続得点に。やんちゃクラブもタイムアウト請求したが、流れは変わらず筑波学園クラブが5点リードを保ちつつ、前半を終了。

後半になると、互いに速攻やセットプレーなどオフェンスが面白いように決まり出す。特にやんちゃクラブ7番山田は前半3得点、さらに後半5分までに3得点をあげるなど筑波学園クラブを猛追したが、筑波学園クラブも4番中村1得点・8番加藤1得点・9番長谷川2得点とやんちゃクラブを突き放す猛攻撃を見せた。

終始リードを保ちつつ、ゲームコントロールした筑波学園クラブが逃げ切り6年ぶり3回目の優勝を果たした。

得点の半分を叩きだした神徳選手（左）と長谷川選手（右）

男子優勝：渡辺組

監督　伊藤 和広

我がチームは6月24日から埼玉県で行われた関東ブロック予選を1位で通過し、7月15日から福島県で行われた本大会で、2年ぶり4回目の優勝を果たすことができました。

各ブロックの代表チームはどこも強豪なので、ひと試合ひと試合全力で挑まねばならず苦戦の連続でした。特に決勝戦は、前半は同点で折り返したものの、後半のラスト10分まで相手チームを追いかける苦しい展開。しかし残り時間わずか10秒で同点に追いつき、マイボールでフリースローになったところでロングシュートが決まり逆転に成功。まさに劇的な勝利でした。

大逆転の末優勝を勝ち取り、恩師である渡辺靖弘横浜商工（現横浜創学館）元監督を胴上げすることができた喜びもチーム全員の胸に大きく刻まれました。

3月11日の未曽有の東日本大震災と、いまだ光の見えない福島第一原発事故。まさにその渦中にある福島の地で開催された本大会は、それだけで特別な意義を持ち、生涯私たちの記憶に残ることと思います。実は私自身、仙台に居を置く母が被災したこともあり、本東日本大会に寄せる思いは特別なものがありました。全出場選手、ご関係者共々、思いは同じであったことと思います。

本大会の開催は、ご関係者の皆様の情熱とご努力に支えら

キャプテン　山崎 慎也

関東予選、本戦ともに、チーム全員得点を目標に掲げ挑みました。その目標も達成し、さらに優勝できたことを何よりうれしく思っています。

メンバーの殆んどが社会人から成るクラブチームなので、「ハンドボールを楽しむ」という原点を忘れず、チーム一丸となって臨むことができました。その結果、苦しみながらも何点かリードする展開で試合を進めることができました。

働きながら寸暇を割いて練習を重ねている分、チームのモチベーションも高い。社会人の我々にとってこの優勝の持つ意味は非常に大きいと感じています。

れ実現したものと、出場者全員に代わりまして心より深く感謝、御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

女子優勝：筑波学園クラブ

主将　岡野 早苗

まず寄稿するにあたり、この場をお借りして、甚大なる震災の犠牲になられた方々にご冥福と被災を受けた方々にお見舞いを申し上げるとともに、今後のさらなる復興を心よりお祈りいたします。

私達は平成14年度・17年度に引き続き、お陰さまで今回三度目の優勝をすることができました。これもこのチームに集う仲間たちと筑波大学の河村先生のお陰です。心から感謝しています。

日常の慌ただしさから解き放たれ夢中になってボールを追うことができるこの瞬間は、「本当にありがたい」。ましてや、チーム内は年代を超えて交流が盛んなため、常にアットホームな雰囲気で、プレーを介して自由に自己表現し、それを認め合える仲間がいます。事実、そのことが体力や技術力の不足を穴埋めし、チーム力を結集させている要因であると推察しています。今回の経験が今後における活動の原動力になると期待しつつ、継続的な活動できるよう精進していきたいと思います。

最後に、今大会の開催にあたりご尽力いただきました福島県ハンドボール協会の関係各位に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

ヨーロッパのハンドボールLIFE

「日本人である」ことに誇りを持って

元：CLEBA Leon Balonmano
現：三重バイオレットアイリス
早船愛子

写真提供（2点共）：スポーツイベント社

今回の原稿依頼をお引き受けする上で、何度か自分のスケジュールの都合上お断りさせていただいていました。しかし、今季7年ぶりに日本リーグへの復帰を決めたことで、自分のこれまでのヨーロッパでの経験を振り返ることが、自分のこれからにとっても重要なことなのではないかと考えています。

まず、7年間の間に所属した4チームについて簡単にまとめ、それに基づいてそれぞれのチーム、契約に関すること、生活、練習などについて説明させていただきたいと思います。

■ 2004 － 2006……GOG Svendborg TGI　デンマーク1部リーグ EHF カップ出場
■ 2006 － 2007……Team Tvis Holstebro　デンマーク1部リーグ
■ 2007 － 2010……Vicar Goya　スペイン1部リーグ
■ 2010 － 2011……CLEBA Leon Balonmano　スペイン1部リーグ EHF カップ出場

よく聞かれる質問としてあるのが、どのようにしてヨーロッパでチームを見つけるかです。プロとしてより良い条件で契約したいならば、誘われる側であることはもちろんですが、その国のハンドボール事情、言語に精通したエージェント（代理人）を見つけることも重要です。契約の内容をしっかり理解して、後々もし何か問題が起きた場合でも素早く対処できますし、海外で働くということはその国の法律に従うことになります。ただでさえ難しい手続きなどを他言語で理解するということは本当に大変です。そういったことも踏まえて、エージェントを通してチームとコンタクトをとることはハンドボールに集中するために、特に言葉が理解できないうちは必要不可欠ではないかと思います。

私の場合、初年度は多くの方々に協力していただき、自分のプレーを編集したビデオをデンマークのチームに送り、その際興味を持ってもらったことでトライアウトにつながりました。デンマークでの2年目以降は個人的にエージェントと契約し、チームとの契約、シーズン中に起こった問題などにすぐ対処できたという面でとても有意義なものになったと思います。スペインに移籍後2シーズン目からは、ある程度理解できるようになったことで、契約に関しても自分から積極的に関わるようになりました。もちろん失敗することも多かったですが、そこで学び次につながるように、その時は大きなストレスでも今となっては良い経験になったと思います。

デンマーク、スペインリーグ自体について言えば、プロリーグと言えど色々な選手がいます。学生として勉強しながらプレーしている、仕事を持っている、結婚して子供がいる…

などです。そのため各々の契約内容はもちろん違いますが、共通して言えることはチームと契約し所属している以上、すべての場合でチームとしての活動が優先されるということです。それだけハンドボールに対する周囲の理解がある、ということでしょうか。

ただ、全ては結果を残すか残さないかで大きく変わり、そういった部分が本当にシビアでプロフェッショナルな部分だと思いますし、日本のハンドボールとは大きく違う部分だと思います。私も在籍したいくつものチームで、シーズン中に監督、選手が突然解任、解雇されたのをみてきました。デンマークに渡り1年目に起きた監督の突然の解任はすごくショックだったこと、そして自分も同じ状況にいてとにかく結果がすべてなのだ、と改めて実感したのを覚えています。

あちらでの生活についてまとめてみると、基本的に練習は午後のみで1時間半から2時間。プレシーズンに1日2回練習することはあっても、1回の練習が2時間を超えることは滅多にありません。ただ練習は短期集中でどんどん進んでいきます。練習以外の時間は語学学校に行く、自分のトレーニングをする、チームのお手伝い、指導などをしていました。

リーグは9月から5月までで、試合数は25～30試合になります。ホームとアウェイで1試合ずつ、リーグの他にも合間に国王杯、日本の全日本総合にあたるような大会の予選などが半年がかりであったり、ヨーロッパのカップ戦に出る年などは週4試合、国をまたいで試合することもありました。こういうこともあり、強豪チームは1シーズンに多くの試合を戦い抜く上で登録メンバー全員がいつコートに立ってもおかしくないような布陣にする必要があり、その為各国のポジションのスペシャリストが集められ、リーグ自体のレベルも上がることになります。ただここには弊害もあり、例えば私がデンマークのチームに所属していた時デンマークは多くの国際試合で優勝しています。リーグの各チームを見渡してみても試合に出ている選手はデンマーク代表以外は外国人、といった状況でした。本国の若い選手が経験を積む場がなく、世代交代もあってその後外国籍の選手に対しての人数規制ができたと聞いています。

今回、日本に戻り7年ぶりに日本リーグに復帰する上で、多くの葛藤がありました。日本を出て海外でプレーすると決めた時、何年後かに戻ってきて自分がプレーする姿を全く想像できませんでしたし、自分自身よりも私を良く知る周りの方々が一番驚いているのでは、と思います。指導者としての何年後を見ているわけではありません。ただ、与えられたチャンスにもう一度チャレンジできること、自分の経験してきた何かを日本でまたみなさんに見ていただけることを幸せと感じ、そこに何か感じていただければと思います。

最後に、日本が世界で戦う為に、そしてオリンピックに出るために必要なことは？という質問を受けましたが、何よりも「日本人である」ことを誇りに思って、らしさを忘れずにプレーすることだと思います。海外でトップの選手からいつも感じさせられるのが自国に対する思いの強さであったり、各々の内面の強さです。そういう気持ちが最終的に本当の強さになるのでは、と思っていますし、自分もそういう選手でありたいと常に思っています。

～「なでしこ」に続こう～

企画・広報委員
早川　文司

ロンドンオリンピック出場をかけたアジア予選まで１カ月余に迫ってきた。男女とも予選出場国、組み合わせも決まり、あとは朗報を願うばかりである。

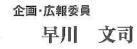
予選突破に向けて日本は合宿、遠征と可能な限りの強化を図ってきた。どのような戦いを挑んで、悲願の出場切符を手にするか。楽しみと同時に不安がのぞくのも、また正直なところであろう。

ところで、サッカー界が沸きに沸いている。日本女子代表「なでしこジャパン」のワールドカップ初優勝の快挙である。未明の時間帯にも関わらず、テレビ中継で声援を送ったファンも多いということだ。

多くの苦難を乗り越えてつかんだ“世界一”の座。東日本大震災に苦しむ人たちに、希望と勇気を与えた貢献度は計りしれないものがある。

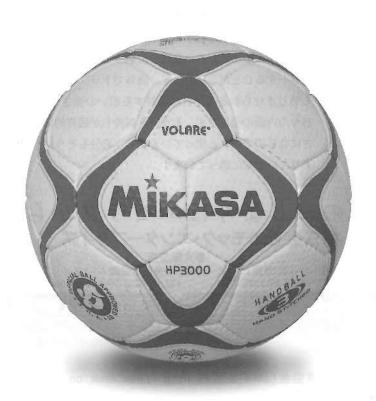
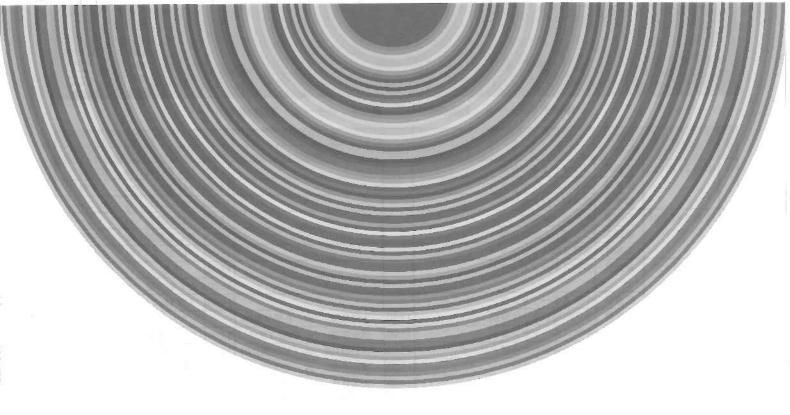
優勝トロフィーを高々と掲げて、喜びを爆発させる「なでしこジャパン」の面々。テレビの画面からも満開の笑顔が感じ取れた。

一方で、ハンドボール界を振り返った時に、残念ながらうらやましい感情が込みあげてきた。「この大フィーバーがハンドボールだったら…」どんなにうれしいことだろう。ただ単に「たら…」の夢に終わらないことを願いたい。

予選はもうすぐそこまでやってきている。日本男女の奮闘を待つしか、われわれには手段はない。でも、あらゆるチャンスをとらえて代表選手たちの背中を押すことを考えてみるのも、一つの方法ではないだろうか。

日の丸戦士には、震災の人たちに少しでも希望と勇気を与える気持ちを持って戦ってもらいたいものだ。「なでしこジャパン」も仕事とサッカーの両立させるために、苦しい環境を乗り越えて、栄光を手に入れた。「やれることを出し切る」－自分の持っている力をフルに発揮しての栄冠だった。

そこには“決してあきらめない”強い精神力が備わっていたと言える。最後の最後まで勝負にチャレンジする。そして、タイトルをつかみとる。彼女たちの姿は、アスリートだけでなく、社会全体の教訓でもあったと思う。

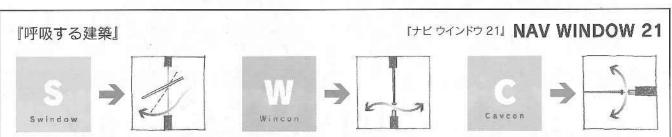
今、スポーツ(ハンドボール)ができる幸せをかみしめながら、精いっぱいのプレーを、そして勝負をやってきてもらいたい。「なでしこ」にフィーバーぶりを独り占めされることはない。

「負けるわけにはいかない」強い気持ち、ここまで厳しい練習を繰り返して培ってきたプレー。自信を持って、韓国へ、中国へ乗り込んでもらいたい。そのあとには必ず“ご褒美”が待っていることだろう。「なでしこ」に続き、そして追い越そうではないか。

第36回 日本ハンドボールリーグ 日程

●男子：８チーム、２回戦総当り　●女子：６チーム、３回戦総当り

週	月日	開催地 都道府県	会場	男子		女子	
				時間	組合せ	時間	組合せ
1	10月29日(土)	愛知県	ブラザー工業体育館			13:00	ＨＣ名古屋 vs 北國銀行
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ vs 三重
		熊本県	熊本県立総合体育館			14:00	オムロン vs ソニー
2	11月3日(木)	石川県	小松総合体育館			13:00	北國銀行 vs ソニー
		愛知県	ブラザー工業体育館			13:00	ＨＣ名古屋 vs 三重
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ vs オムロン
	11月5日(土)	愛知県	中村スポーツセンター			13:00	三重 vs 北國銀行
						15:00	ＨＣ名古屋 vs オムロン
		広島県	中区スポーツセンター			14:00	ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ vs ソニー
3	11月12日(土)	千葉県	市川市塩浜市民体育館	13:00	大崎電気 vs トヨタ車体		
		愛知県	中村スポーツセンター	15:00	湧永製薬 vs 琉球コラソン	13:00	ＨＣ名古屋 vs ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ
			三好公園総合体育館アリーナ	15:00	大同特殊鋼 vs ﾄﾖﾀ紡織九州	13:00	三重 vs ソニー
			稲沢市総合体育館	15:00	豊田合成 vs 北陸電力	13:00	オムロン vs 北國銀行
	11月13日(日)	千葉県	市川市塩浜市民体育館	14:00	大崎電気 vs 北陸電力		
		愛知県	中村スポーツセンター	15:00	大同特殊鋼 vs 湧永製薬	11:00	北國銀行 vs ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ
						13:00	ＨＣ名古屋 vs ソニー
			稲沢市総合体育館	11:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 琉球コラソン	13:00	三重 vs オムロン
				15:00	豊田合成 vs トヨタ車体		
4	11月19日(土)	栃木県	栃木県立県南体育館	13:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 豊田合成		
				14:45	大同特殊鋼 vs 北陸電力		
		埼玉県	和光市総合体育館	12:00	琉球コラソン vs トヨタ車体		
				14:00	大崎電気 vs 湧永製薬		
	11月20日(日)	茨城県	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	13:00	湧永製薬 vs 北陸電力		
				15:00	豊田合成 vs 大崎電気		
		山梨県	甲州市塩山体育館	13:30	トヨタ車体 vs ﾄﾖﾀ紡織九州		
				15:30	大同特殊鋼 vs 琉球コラソン		
5	11月23日(水)	愛知県	豊田合成(株)健康管理センター	18:45	豊田合成 vs 湧永製薬		
		岐阜県	大垣市総合体育館	14:00	大同特殊鋼 vs トヨタ車体		
		佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 大崎電気		
		沖縄県	沖縄市体育館	13:00	琉球コラソン vs 北陸電力		
	11月26日(土)	香川県	高松市香川総合体育館	12:00	北陸電力 vs ﾄﾖﾀ紡織九州		
				14:00	トヨタ車体 vs 湧永製薬		
		沖縄県	浦添市民体育館	14:00	琉球コラソン vs 豊田合成		
				16:00	大崎電気 vs 大同特殊鋼		
	11月27日(日)	高知県	高知県民体育館	13:00	トヨタ車体 vs 北陸電力		
				15:00	湧永製薬 vs ﾄﾖﾀ紡織九州		
		沖縄県	浦添市民体育館	13:00	大同特殊鋼 vs 豊田合成		
				15:00	琉球コラソン vs 大崎電気		
6	12月2日(金)	愛知県	ウィングアリーナ刈谷	19:00	トヨタ車体 vs 豊田合成		
	12月3日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 大崎電気		
		広島県	湧永満之記念体育館	14:00	湧永製薬 vs 大同特殊鋼		
		沖縄県	沖縄県総合運動公園体育館	14:00	琉球コラソン vs ﾄﾖﾀ紡織九州		
7	12月7日(水)	埼玉県	富士見市立市民総合体育館	18:30	大崎電気 vs ﾄﾖﾀ紡織九州		
	12月10日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 琉球コラソン		
		愛知県	知立市福祉体育館	13:00	トヨタ車体 vs 大同特殊鋼		
		広島県	中区スポーツセンター	13:00	豊田合成 vs ﾄﾖﾀ紡織九州		
				15:00	湧永製薬 vs 大崎電気		
	12月11日(日)	富山県	富山市総合体育館	13:00	トヨタ車体 vs 琉球コラソン		
				14:45	北陸電力 vs 大同特殊鋼		
		広島県	東区スポーツセンター	18:00	湧永製薬 vs 豊田合成		
8	12月17日(土)	愛知県	枇杷島スポーツセンター	13:00	大同特殊鋼 vs 大崎電気		
			豊田合成(株)健康管理センター	14:00	豊田合成 vs 琉球コラソン		
		広島県	湧永満之記念体育館	14:00	湧永製薬 vs トヨタ車体		
	12月18日(日)	佐賀県	トヨタ紡織九州クレインアリーナ	15:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 北陸電力		

週	月日	開催地 都道府県	会　場	男子 時間	男子 組み合わせ	女子 時間	女子 組み合わせ
9	1月14日（土）	熊本県	山鹿市総合体育館			14:00	ソニー vs 三重
						16:00	オムロン vs 北國銀行
	1月15日（日）	愛知県	ブラザー工業体育館			13:00	ＨＣ名古屋 vs ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ
10	1月21日（土）	鹿児島県	霧島市国分体育館			14:00	ソニー vs オムロン
	1月22日（日）	愛知県	愛知県体育館			16:30	ＨＣ名古屋 vs 北國銀行
		三重県	鈴鹿市立体育館			14:00	三重 vs ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ
11	1月28日（土）	三重県	四日市市中央緑地体育館			14:00	三重 vs ＨＣ名古屋
		広島県	中区スポーツセンター			14:00	ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ vs オムロン
	1月29日（日）	石川県	金沢市総合体育館			15:00	北國銀行 vs ソニー
12	2月4日（土）	広島県	中区スポーツセンター			14:00	ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ vs 北國銀行
		熊本県	山鹿市鹿央公民館			14:00	オムロン vs 三重
	2月5日（日）	愛媛県	西条市総合体育館			12:30	ソニー vs ＨＣ名古屋
13	2月11日（土）	石川県	小松総合体育館			13:00	北國銀行 vs オムロン
	2月12日（日）	三重県	名張市総合体育館			14:00	三重 vs ソニー
		広島県	中区スポーツセンター			14:00	ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ vs ＨＣ名古屋
14	2月18日（土）	鹿児島県	霧島市国分体育館			11:00	三重 vs オムロン
						13:00	北國銀行 vs ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ
						15:00	ソニー vs ＨＣ名古屋
	2月19日（日）	熊本県	水俣市立総合体育館			12:00	北國銀行 vs 三重
						13:50	ソニー vs ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ
						15:40	オムロン vs ＨＣ名古屋
15	2月25日（土）	岩手県	花巻市総合体育館	14:00	大崎電気 vs 豊田合成		
		福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 湧永製薬		
		広島県	中区スポーツセンター			14:00	ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ vs 三重
	2月26日（日）	石川県	小松総合体育館			15:00	北國銀行 vs ＨＣ名古屋
		京都府	京都府立体育館			14:00	オムロン vs ソニー
		福岡県	福岡市民体育館	14:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs トヨタ車体		
		沖縄県	沖縄市体育館	14:00	琉球コラソン vs 大同特殊鋼		
16	3月3日（土）	佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 湧永製薬	13:00	三重 vs ＨＣ名古屋
		熊本県	水俣市立総合体育館	16:00	大崎電気 vs 琉球コラソン	14:00	オムロン vs ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ
		大分県	別府市総合体育館（べっぷアリーナ）	13:00	豊田合成 vs 大同特殊鋼		
		鹿児島県	姶良市総合運動公園体育館	15:00	北陸電力 vs トヨタ車体	13:00	ソニー vs 北國銀行
	3月4日（日）	佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 大同特殊鋼	13:00	北國銀行 vs 三重
		熊本県	宇城市松橋総合体育文化センター ウィングまつばせ	12:00	北陸電力 vs 豊田合成	15:40	オムロン vs ＨＣ名古屋
				13:50	琉球コラソン vs 湧永製薬		
		宮崎県	小林市市民体育館	15:00	トヨタ車体 vs 大崎電気	12:30	ソニー vs ﾒｲﾌﾟﾙﾚｯｽﾞ

プレーオフ	3月10日（土）	東京都	駒沢体育館	女子準決勝（レギュラーシーズン2位vsレギュラーシーズン3位）
				男子準決勝（レギュラーシーズン1位vsレギュラーシーズン4位）
				男子準決勝（レギュラーシーズン2位vsレギュラーシーズン3位）
	3月11日（日）	東京都	駒沢体育館	女子決勝
				男子決勝

JHAジュニアアカデミー 報告

JHAジュニアアカデミー担当 田中 茂

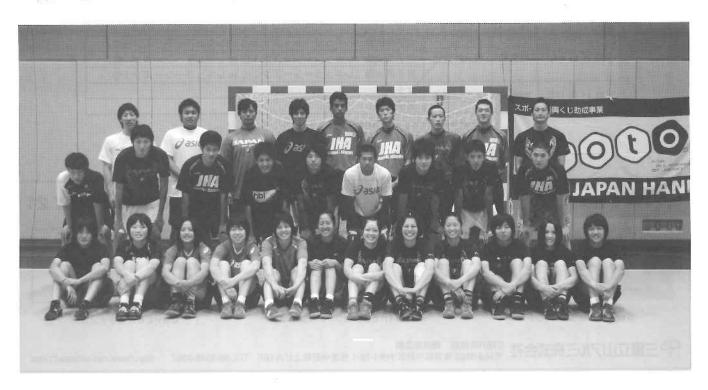
平成20年10月24日にスタートした「JHAジュニアアカデミー」中長期選手育成事業も今年度で4年目を迎えることができました。これも「JHAジュニアアカデミー事業」に賛同、協力をいただいた各指導者の皆様の協力があったからこその事業だと思っております。選手を派遣いただく際はご迷惑をお掛けしたことも多々あったかと思います。スケジュール調整を含めご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

スタート当初は、課題や問題も多く、見切り発車的な活動だったかもしれません。しかし、4年目を迎えるにあたり、日本が目指すハンドボール、日本らしいハンドボールを強化委員会、日本代表、各カテゴリースタッフと共有できるようになりました。また、JHAジュニアアカデミー委員会を発足させ、日本代表男女、各カテゴリーのスタッフの意見を聞きながら、日本協会技術委員会とのコラボレーションによりトレーニング内容を策定し、活動を行っていける体制が整ってきました。

選手選考に関しても、NTSを中心とする選手発掘、また各大会視察を行っての情報収集により、多くの将来性ある選手を見つけました。その選手達を定期合宿において一貫指導を行っていくことにより、将来の日本代表選手を育て、その選手達が日本代表として活躍できるような強化システムも整ってきたと思います。

当然ではありますが、将来の日本代表となる選手を育成、強化することは、目標である悲願のオリンピック出場、また将来的にメダル獲得に向けての基盤づくりだと考えております。

まだ解決しなくてはならない課題、問題もあるかと思いますが、今後もより良い方向へ強化育成ができるよう皆様と意見交換を行い、システムの構築、将来ある選手育成に取り組んでいきたいと思います。

今後もご協力を賜るかと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

平成23年度JHAジュニアアカデミーについて

◆ JHA ジュニアアカデミー委員会（新規）

「2008年10月にスタートしたJHAジュニアアカデミーも4年目となり、JHAジュニアアカデミーの組織化、各選手所属チーム、各カテゴリー等の連携強化に向け、昨年度以上に充実した組織、内容にて取り組む。」

◆ JHA ジュニアアカデミー委員会の役割

＊ JHA ジュニアアカデミー目的

→中・長期選手育成を基本として、個の育成に重点をおき、長身選手、または技量の優れた選手の育成を目的とする。（体力・技術・戦術・精神力の強化）

＊ JHA ジュニアアカデミー目標

→中・長期選手育成ではあるが、当然、即戦力選手育成を目標に置き、一人でも多くのアカデミー生を日本代表に押し上げる。

→現時点での、アカデミー生の代表入り（男子:信太弘樹、元木博紀、女子:田邉夕貴、永田しおり、塩田沙代、戎野満梨奈）

→男女共に2016年リオオリンピックに向けた中心選手強化

＊ JHA ジュニアアカデミーのトレーニング内容の検証

→ NTS 内容策定委員会と協力して作成を行っていく。

→日本代表男女スタッフ、各カテゴリースタッフとの練習内容検証

◆選手情報収集活動

＊大会視察

→学生リーグ・西日本インカレ・全日本学生選手権
高校ブロック大会・高校総体
全国中学校大会・JOC ジュニアオリンピック

→高校生全国長身者登録データ作成

→ JHA ジュニアアカデミーキャラバン

【1日の活動スケジュール】合宿中の基本スケジュール

・6：30～7：30　走トレーニング中心
・10：00～12：00　フィジカル強化中心
・15：00～17：30　パス、シュート、DF、OF 攻防練習中心
・19：30～21：00　知的スキル

【JHA ジュニアアカデミーが取り組んできた活動内容】

・フィジカル強化

（走）30分間走・800 m走・400 m走・200 m走・80 m走 etc
（跳）縄跳び・BOX ジャンプ・マットジャンプ・スクワットジャンプ etc
（投）メディシンボール・パワーボール・連続シュート etc
水泳トレーニング

・技術練習

パス技術の向上（スピードパス・パステクニック）
シュート練習中心（シュート技術向上・シュート力向上・緩急向上）etc
基本オフェンス練習（1対1・2対2・3対3）etc
基本ディフェンス練習（基本姿勢・DF 方向づけ・DF の連動）etc
基本速攻練習（3対3・4対4・3対2・2対3）

・競技間連携

レスリングトレーニング・バドミントントレーニング
バレーボールトレーニング・バスケットボールトレーニング

・知的スキル

コミュニケーションスキル（JOC 主催）
オリンピック・世界選手権・アジア選手権等のビデオ研究
オリンピックメダリストによる講演

◆昨年22年度 JHA ジュニアアカデミーチームとしての活動結果

昨年度は、日本協会推薦で第62回全日本総合選手権に参加することができました。

参加に際し多くの方々にご支援、ご協力を賜りましたことを改めまして感謝申し上げます。

【JHA ジュニアアカデミー第62回全日本総合（男子）出場】

・平成22年12月22日
JHA ジュニアアカデミー選抜　30 － 29　早稲田大学

・平成22年12月23日
JHA ジュニアアカデミー選抜　26 － 35　琉球コラソン

第9回ハンドボールコーチング研究会は、平成23年3月12日駒澤大学において開催が予定されていましたが、前日の3月11日に大震災が発生したことにより中止となりました。
そこで研究会で発表予定であった内容については、本誌で連載報告していただく運びとなりました。
今月は下川真良先生（朝日大学）の発表内容「ハンドボールにおけるサイドシュートの事例的研究」を報告させていただきます。なお、他の発表については次号以降で報告を連載いたします。

(財)日本ハンドボール協会指導委員会研究部会　舎利弗　学（学校法人福島高等学校）

ハンドボールにおけるサイドシュートの事例的研究
―知の獲得について―

下川 真良（朝日大学）、杉森 弘幸（岐阜大学）、森　裕太（岐阜大学大学院）

キーワード：サイドシュート、実践知、インタビュー、先取り

I. 緒　言

1. 研究の動機

ハンドボールにおけるサイドシュートは、攻撃の幅を広げるだけではなく、ゴールキーパー（以下GK）に大きなプレッシャーを与え、時にはゲームの流れを左右する重要なシュート技術の一つである。筆者は現在、大学生を指導している中で選手に必要なシュートのコツやイメージを与えられていないと感じ、先行研究でもある「ハンドボールにおけるサイドシュートの研究」[3]として研究した。この研究では、筆者自身が行ってきたサイドシュートに焦点をあて、その運動経過やコツを記述・整理した。しかし、対象者が筆者一人だったこともあり、他のトップ選手から主観的情報の「動きのコツ」や「イメージ」を聞き、サイドシュートの基礎資料が得ることができないか考えた。

2. 研究目的

選手の技術向上や技術指導には、客観的な情報だけではなく、主観的情報のコツや動きの意識も重要なものである。ハンドボールにおけるサイドシュートは「職人技」のような部分があり、準備局面からシュートに至るまでの方法、シュートバリエーションや打ち方といった、トップ選手が行った主観的情報の研究はほとんどない。そこで、本研究は筆者自身が先行研究で整理したサイドシュートの運動経過を資料とし、トップ選手3名にサイドシュートを自己観察してもらい、インタビューを行い、運動経過を整理した上で、サイドシュートの基礎資料を得て、今後の指導の一助とすることを目的とした。

II. 研究方法

1. 対象者

対象者は、現在ナショナルチームおよび実業団チームで、現役選手として5年以上活躍している選手3名である。これら対象者は、本研究者が研究目的に適していると判断し、協力依頼をした。それぞれの競技プロフィールは以下の通りである。

- 豊田賢治：2005・2011年世界選手権共に16位
- 末松　誠：2011年世界選手権16位
- 村上秀行：2011年世界選手権16位

2. 研究方法

インタビュー調査に先立ち、事前に本研究の趣旨を説明し、いずれの質問に対しても拒否できることを伝え、調査内容の音声およびVTR、シュート映像、研究成果の実名公開に関して了解を得てインタビューを行った。インタビュー実施までに筆者のサイドシュートの運動経過（表1）を参考文献として提示し、インタビューに基づき実演してもらったシュート映像を撮影した。調査内容は、筆者が整理したサイドシュートの運動経過と局面をもとに、自己観察をして考えてもらい、調査的面接法を用い回答してもらった。

表1　下川のサイドシュートの運動経過

局面	主観的情報
待ち	GKの予備知識・状況判断・アイコンタクト
受け	キャッチの体勢・GKの位置・歩数（0又は1歩）
跳び込み	接触されない状態・跳ぶ脚・跳ぶ方向・ラインは感覚
対峙	GKの位置、体勢・自分の体勢
シュート	GKの体勢・自分の体勢・フェイント動作
リリース	GKの確認・腕・手首、指先
着地	GKの体勢・倒れ込み・バックチェックの意識

3. トップ選手の語りの信頼性

対象者ごとに、すべての発言内容を逐語録として文章におこし、語りの意味内容を理解できるように繰り返し読み、先行研究であるサイドシュートの運動経過に当てはめて、各選手がもつ動きのコツ、意識を項目ごとにまとめた。対象者に調査内容について加筆や訂正がないか確認し、これらを研究の基礎資料とした。

得られた基礎資料を分析し、局面ごとにあらわれる個人技術の実践知に関する記述を取り出し、対象者ごとにまとめた。

対象者の語りは、ナショナルレベルになるまでの過程において様々なプレー状況を克服することにより高めた個人技術と考えられ、意味づけられた行為の語りであると捉え分析した。

III. 結果および考察

1. 各選手の語りから

表 2　各選手の準備局面の語り

「まず、ボールをもらう前に、GK の位置取りであったり、サイドディフェンスの寄りのタイミングであったりっていうのをまず考えて、特に GK はボールをもらう前に、GK の位置を確認するようにしています。」【豊田選手】
「跳び込んだ時に必ずボールを上にあげ、GK の手を上にあげて、シュートコースは必ずここって決めているのでそこに気持ちよく打ち込むための準備をします。」【末松選手】
「待っている時は、いかにバックプレーヤーや周りの動きをサイドからみて、ボールがくるタイミングを計り、ずれた時に一番いいタイミングで跳び込めるように待っています。」【村上選手】

表 2 の語りから、豊田選手はボールをもらう前に GK の位置を確認することをあげ、末松選手は自分が打ちたい狙いどころを打つための準備があることを示唆し、村上選手は準備とタイミングの重要性を述べた。

今回サイドシュートの実践知や個人技術を研究するにあたり、主要局面である「シュート」や「リリース」といった局面が語りの中心になると考えていたが、トップレベルで実力が拮抗してくると、"自分のシュートをするための準備" を多く取り上げ、シュートに関しては、GK を見て判断するといった傾向がみられた。

デーブラー[1] は球技における先取り能力を「ボールの弾道」・「敵の運動」・「味方プレーヤーの運動」の 3 つに分け、この先取りはプレー中、別々に現れるものではなく、たいていは 3 要因すべてが観察されなければならないし、このことに加え自己のとらんとしている行動がさらに先取りされなければならないと述べている。

豊田選手の「受け」局面では「キャッチするまでボールを見るのではなく」という言葉の通りボールの弾道の先取りであり、村上選手の「チームメイトの癖やタイミングはわかる」は味方プレーヤーの運動の先取りといえる。また、各選手「受け」から「跳び込み」局面にみられる、0 または 1 歩での跳び込みは DF に接触されないためや GK にいい位置取りをさせないなど敵の運動に対する先取りとなる。以上のように、今回のインタビューでは、主要局面より、主要局面を成功させるための先取り[2] である準備局面を重視した実践知がみることができた。

2. 各選手を比較して

局面の共通点として、準備局面ではパスをもらう前の状況判断、歩数や GK の状態の確認、主要局面では GK の体勢や動き出しに意識を持ち、自分の体勢でシュートを打てるように心掛けていることがみられた。また、主要局面の「シュート」では、個人技術の違いはみられたが、要点は類似していることが示唆された。

IV. 要　約

本研究の目的は、サイドシュートに関する基礎資料を得て、今後の指導の一助とすることであった。分析した結果、以下の知見が得られた。サイドシュートを指導する際には、練習で味方のパスや癖など試合に対する準備を怠らず、周りの状況・GK の位置取りなど準備の段階、シュート体勢の維持や GK にいい位置を取らせないための歩数を多く使わない跳び込みなど、主要局面を成功させるための先取りを洗練することが主要局面を成功させるための要因ということが明らかになった。

今後の課題として、今回は筆者自身の運動経過にあてはめて研究を行ったので、対象者も筆者の影響を少なからず受けたと思われる。しかし、重要視している点は類似している部分が多くみられた。今後はより数多くのトップ選手から主観的情報を聞き取り、より深いコツや技術の情報を得ること。また GK 側の情報を聞き出しお互いの間主観的な駆け引きを知ることによって世界に通用できる選手育成・指導に役立つ資料を作成したい。

VI. 引用・参考文献

1) H. デーブラー著、稲垣安二、上平雅史監修、谷釜了正訳（1985）球技運動学、不昧堂出版、pp.191-198
2) マイネル. K、金子明友訳（1981）スポーツ運動学、大修館書店、pp.228-235
3) 下川真良ほか（2009）ハンドボールにおけるサイドシュートの研究、ハンドボール研究第 11 号、pp.104-110
4) 鈴木淳子（2002）調査的面接の技法、ナカニシヤ出版、pp.4-18

第1回社会人大会におけるDCT

平成23年度も昨年に引き続きJHAの全試合がDCT（ドーピングコントロールテスト）の対象になります。

記念すべき高松宮記念杯〈第1回全日本社会人ハンドボール選手権大会（平成23年7月13日～平成23年7月17日、於函館）〉においてもDCT活動が行われました。

参加された社会人チームの選手／スタッフ共に、アンチ・ドーピング活動に関しては十分な理解と協力が得られました。

しかしながら、従来より検査の実務においては以下のような懸念があります。

1）DCS（ドーピングコントロールーステーション）のスペースが十分に確保できない試合会場があり、選手がリラックスできず長時間の検査時間を要する
2）試合後の選手移動の時間帯に検査が伸びた場合には、チームへ多大なる負担を強要する
3）従来（10年程前でしょうか？）のハンドボール国内大会におけるDCTを踏襲した様な検査日の事前開示（誤報にてチームとトラブル）、TUE（治療目的使用に係る除外措置）に関する薬物の内服申請を試合会場で行うこと（現在の規程にはありません）

今回も以上の事が少なからず該当しました。

今後もこれら問題点を解消するために検査される立場、検査する立場に立った良好な環境作りをJADA（日本アンチ・ドーピング機構）と協議を重ね活動を行う予定です。

アンチ・ドーピング特別委員会委員長　**坂本静男**
医事委員会委員長　**佐久間克彦**

審判員の身体状況とパフォーマンス変動

ハンドボール競技においては、選手はもちろんのこと、審判員にも選手に近い運動量が求められます。これまでに選手の運動量を評価された報告は散見されますが、審判員の運動量、身体状況を評価した研究報告はほとんどありません。そこで、植村彰審判部長からの要請もあり、本年度から審判部と医事専門委員会とで協力し、試合中における審判員の運動量、身体状況に関する評価を行うことになりました。

審判員に審判活動の阻害にならない程度の検査機器を装着していただき、心拍数変動、走行距離、速度、歩幅を経時的に記録します。競技でありますので、試合の競技レベル（日本リーグ、全国大会、または男女）、審判員のレベルによって異なりますが、各レベルに応じた検討を行う事は可能と考えています。同様の検査機器を用いた審判員への取り組みは、すでにサッカーで始められており、レフェリートレーナーによる審判員への体力的な助言などに用いられております。

本研究結果をもとにして、審判員に必要とされる標準的な体力、また近年国際的な審判指導の中でも強く推奨される試合中の水分摂取、さらには、身体状況の変化によるレフェリングパフォーマンスへの影響といった点に焦点を当て、審判力向上に対し医科学的側面から一役を担う事ができればと考えています。

本研究を開始するにあたり、選手ならびに競技関係者の皆様におきましては、競技に影響を及ぼさない事をご理解いただき、ご容赦願えれば幸いに存じます。さらに、JHA/JHL審判部、また公認審判員各位には、多大なご協力をお願いする事になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医事専門委員、審判部国際専門委員　**貝沼圭吾**（三重大学附属病院）
医事専門委員長　**佐久間克彦**
アンチ・ドーピング特別委員会委員長　**坂本静男**

審判部報告

IHF/AHF 女子チャレンジトロフィーに参加して

島尻真理子・太田智子

５月某日、『-Nomination letter-』という件名で届いた一通のメールは、私たちペアにとって国内外を通して初めての経験となる国際大会への、第一歩となりました。

ただ…大会名である『IHF/AHF 女子チャレンジトロフィー』に関して、どういう大会なのか、どのカテゴリーの選手が対象の大会なのか といった情報が皆無であり、なにより開催場所がカザフスタンの以前の首都アルマティ（日本との時差は－３時間）。（悪い意味でではありませんが）未だ足を踏み入れたことのない地、出発まで日数がない中で不安だらけの日々を過ごしたことを、昨日のことのように覚えております。

私たちが今回、６月７日～15日の日程で参加させていただいた『IHF/AHF 女子チャレンジトロフィー』という大会は、開催国であるカザフスタンを始め台湾、タイ、ウズベキスタンの４カ国（大会最終順位順）のU-20（主に18、19歳）の年代の選手が参加し、総当たりのリーグ戦形式で行われました。そして、この大会を利用して、ノミネートされたレフェリー（カザフスタン、ウズベキスタン、日本＊３ペアとも女性ペア＊）への研修を中心に、カザフスタン国内のコーチやレフェリーも加えた（約10人程）、レフェリー・コーチ研修会を開催していました。

大会期間中となる６月10～15日までの間、私たちは、午前中にレフェリーとしてどうあるべきか・実際のゲームを見てどう判定することがベスト／ベターかといった講義やAHF大陸レフェリーコースを受講した際と同様の筆記テスト（今回はルールテストのみで15問出題）、シャトルランテスト、また午後は、実際に行われるゲームを３ペアのうち２ペアが吹笛し、もう１ペアがリザーブ兼ゲームを見て感じたことをメモに取り翌朝の講義で意見を述べる というスタイルでした。

この研修会でご指導いただいたのがIHF PRC Lecturerとしてご活躍されているStefan Jug氏という方でした。彼は現役の頃から数々の国際大会を経験されてきた方で、私たち参加者に対して「自分がこの場所に来たのは、自らが経験してきたことを伝えるためだ」と話し、私たち３ペアがそれぞれ担当したゲームを見ての感想やアドバイス点、IHFが作成した映像を見ての彼の意見を、ジェスチャーやジョークを交えながら、熱心に話していただきました。

指導内容としては、ノミネートされたレフェリーの中に、レフェリーとして活動した経験がまだ２年程のペアもいたことから、基本的なことが主でしたが、レフェリーとして大切なこと・忘れてはいけないことだったと思います。例えば、「レフェリーは建設的な批判を受け入れなければならない」「建設的な批判を受けた後は変わらなければならない（変わろうとしなければならない）」「自分を変えられるのは自分自身のみ」「レフェリーは警察官であってはならない」「ゲームに携わる全ての人、例えばプレーヤー・トレーナー・オフィシャル・TD etc. と協力しなければならない」「実際にゲームを担当してのトレーニング、身体的トレーニング、他のレフェリーのゲームを観戦することでのトレーニングを怠らない」「全ては一歩一歩、少しずつでも階段を上がっていくことが大事」といったことです。また、実際のゲームの中では、「ペア間でのコミュニケーションの重要性」「イエローカードの使い方（そして常にレッドカードを出す準備をしておくことと出す勇気を持つこと）」「レフェリーのポジション交代の重要性」「罰則を出す際には必ず選手と顔と顔を向き合わせて出す」「どのポジション、どの場面であっても必ずコート上から目を離さない（時にはボール、時にはプレーヤー）」といった内容でした。これらは当たり前のこと と思われるかも知れませんが、トップレフェリーとしてご活躍されている数多くの先輩方からのしっかりとしたご指導の賜物ではないかと思います。先輩方が国内外で感じ、学んできたことを、国内でレフェリーを志す私たちにしっかりと伝えてくださったからこそ感じる"基本的なこと"だったのではと感じました。同時に、これからは、私たちペアも含め２月に新しく大陸レフェリーの資格を得た４ペア８人も、同様に（もしかすると今まで以上のものを求められるかも知れませんが）国内への情報の伝達を行うという重要な役目も担うことを実感しました。

最後になりますが、私たちがカザフスタンという地へ行かせていただいたきっかけをくださった皆様、Nomination letterを受け取った日から帰国後までを最大限にサポートしてくださった皆様、温かくも力強く私たちの背中を押してくださった皆様、厳しくも熱意あふれるご指導をくださった皆様 …すべての皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。今後も、今まで以上に、御指導の程、宜しくお願い致します。

感謝の気持ちと初心を忘れず、一歩ずつ、それでも確実に前へ進んでいけるよう一日一日を過ごしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

執筆　島尻真理子

スコアールーム①

高松宮杯第1回全日本ハンドボール選手権大会

開催期日：2011年7月13日(水)～17日(日)
会　場：北海道・函館市民体育館ほか

【男子】

▼予選トーナメント1回戦

豊田合成 29（14－13、15－13）26 HC山口
トヨタ紡織九州 32（17－9、15－15）24 琉球コラソン
Honda 30（18－12、12－12）24 トヨタ自動車
北陸電力 28（14－6、14－8）14 セントラル自動車

▼予選トーナメント2回戦

大崎電気 45（25－15、20－14）29 豊田合成
トヨタ紡織九州 28（13－16、15－11）27 湧永製薬
トヨタ車体 35（17－12、18－13）25 Honda
大同特殊鋼 32（15－9、17－11）20 北陸電力

▼男子9－12位決定1回戦

琉球コラソン 28（15－13、13－14）27 HC山口
トヨタ自動車 19（10－8、9－8）16 セントラル自動車

▼11－12位決定戦

HC山口 25（13－8、12－13）21 セントラル自動車

▼9－10位決定戦

琉球コラソン 43（16－14、27－11）25 トヨタ自動車

▼5～8位決定戦

湧永製薬 32（13－14、19－15）29 豊田合成
北陸電力 30（17－9、13－13）22 Honda

▼7－8位決定戦

豊田合成 25（11－7、14－17）24 Honda

▼5－6位決定戦

湧永製薬 31（16－9、15－13）22 北陸電力

▼決勝リーグ

大崎電気 36（15－14、21－19）33 トヨタ紡織九州
大同特殊鋼 29（15－17、14－9）26 トヨタ車体
トヨタ車体 32（16－14、16－15）29 大崎電気
大同特殊鋼 39（18－16、21－16）32 トヨタ紡織九州
トヨタ車体 29（14－12、15－16）28 トヨタ紡織九州
大同特殊鋼 31（17－17、14－14）31 大崎電気

【男子最終順位】

①大同特殊鋼②トヨタ車体③大崎電気④トヨタ紡織九州⑤湧永製薬⑥北陸電力⑦豊田合成⑧Honda⑨琉球コラソン⑩トヨタ自動車⑪HC山口⑫セントラル自動車

【女子】

▼リーグ戦

ソニーセミコンダクタ九州 32（14－9、18－11）20 香川銀行T・H
北國銀行 26（12－12、14－13）25 広島メイプレッズ
広島メイプレッズ 29（13－16、16－11）27 ソニーセミコンダクタ九州
北國銀行 25（12－9、13－11）20 オムロン
北國銀行 30（12－9、18－11）20 香川銀行T・H
オムロン 30（16－13、14－13）26 広島メイプレッズ
オムロン 37（18－13、19－12）25 ソニーセミコンダクタ九州
広島メイプレッズ 26（15－9、11－14）23 香川銀行T・H
オムロン 29（20－11、9－12）23 香川銀行T・H
北國銀行 33（17－9、16－12）21 ソニーセミコンダクタ九州

【女子最終順位】

①北國銀行②オムロン③広島メイプルレッズ④ソニーセミコンダクタ九州⑤香川銀行T・H

スコアールーム ②

第31回全国クラブハンドボール選手権大会西地区大会

開催期日：2011年7月16日（金）・17日（土）
会　　場：静岡県・エコパアリーナほか

【男　子】

▼予選リーグAブロック
三重ホンダクラブ 27（8－12、19－9）21 アローズ高知
北送会 28（16－9、12－15）24 アローズ高知
三重ホンダクラブ 29（15－12、14－11）23 北送会

▼予選リーグBブロック
スワロークラブ 39（18－16、21－14）30 静岡県教員団
総社クラブ 31（19－9、12－12）21 静岡県教員団
総社クラブ 25（14－10、11－11）21 スワロークラブ

▼予選リーグCブロック
HC春日井 33（15－5、18－13）18 FORCE
下松クラブ 21（10－9、11－10）19 HC春日井
下松クラブ 30（13－12、17－12）24 FORCE

▼予選リーグDブロック
ホンダ熊本 22（8－6、14－11）17 中央クラブ
中央クラブ 23（9－5、14－7）12 浜南LAYVISH
ホンダ熊本 23（11－7、12－7）14 浜南LAYVISH

▼9－11位決定戦
静岡県教員団 24（14－12、10－9）21 アローズ高知
FORCE 29（15－8、14－10）18 浜南LAYVISH
静岡県教員団 24（14－12、10－9）21 アローズ高知
FORCE 29（15－8、14—10）18 浜南LAYVISH

▼5－7位決定戦
スワロークラブ 26（12－8、14－8）16 北送会
HC春日井 22（9－8、13－8）16 中央クラブ

▼準決勝
総社クラブ 35（13－12、12－13）33 三重ホンダクラブ
（3－3　延長　3－3）
（4　7mTC　2）
ホンダ熊本 25（8－13、13－8）23 下松クラブ
（2－0　延長　2－2）

▼3位決定戦
三重ホンダクラブ 27（13－7、14－11）18 下松クラブ

▼決　勝
総社クラブ 32（14－7、18－11）18 ホンダ熊本

【女　子】

▼1回戦
金曜クラブ 29（11－12、14－13）28 ちあふる
OCEAN 21（11－10、10－10）20 香川レディース
ナデシコクラブ 25（13－3、12－5）8 静岡城北クラブ
レキオクラブ 26（14－7、12－10）17 HC岡山

▼5位－8位決定トーナメント
香川レディース 26（11－5、15－12）17 ちあふる
HC岡山 25（13－6、12－1）7 静岡城北クラブ

▼7位－8位決定戦
ちあふる 26（10－6、16－4）10 静岡城北クラブ

▼5位－6位決定戦
香川レディース 17（9－2、8－13）15 HC岡山

▼準決勝
OCEAN 21（8－7、13－12）19 金曜クラブ
レキオクラブ 27（14－7、13－11）18 ナデシコクラブ

▼3位決定戦
ナデシコクラブ 15（5－3、10－3）6 金曜クラブ

▼決　勝
レキオクラブ 32（10－15、15－10）30 OCEAN
（2－2　延長　5－3）

スコアールーム ③

第31回全国クラブハンドボール選手権大会東地区大会

開催期日：2011年7月16日（金）・17日（土）
会　　場：福島県・本宮市総合体育館ほか

【男　子】

▼会長杯1回戦
東陽 34（17－14、17－18）32 福島SGクラブ
上送 23（8－12、15－10）22 麻生フェニックス
Nagano Yeti6＋ 32（15－17、17－9）26 H・C・Million
蓮田クラブ 32（16－11、16－11）22 青商クラブ
小金クラブ 22（7－6、15－7）13 O・J・C
ラージェスト 23（11－12、12－10）22 不来方クラブ
北村山クラブ 27（13－13、14－12）25 小松オールウェイズ
渡辺組 37（16－11、21－13）24 湖陵クラブ

▼会長杯準々決勝
上送 44（21－20、23－17）37 東陽
蓮田クラブ 35（18－13、17－11）24 Nagano Yeti6＋
ラージェスト 20（9－9、11－10）19 小金クラブ
渡辺組 32（16－10、16－8）18 北村山クラブ

▼会長杯準決勝
上送 24（10－14、14－6）20 蓮田クラブ
渡辺組 25（10－11、15－9）20 ラージェスト

▼会長杯決勝
渡辺組 28（14－14、14－13）27 上送

▼本宮市長杯1回戦
福島SGクラブ 35－28 麻生フェニックス
青商クラブ 32－21 H・C・Million
O・J・C 26－23 不来方クラブ
湖陵クラブ 35－19 小松オールウェイズ

▼本宮市長杯準決勝
福島SGクラブ 29－24 青商クラブ
湖陵クラブ 29－15 O・J・C

▼本宮市長杯決勝
福島SGクラブ 37（13－14、15－14）36 湖陵クラブ
（4－3　延長　1－2）
（4　7mTC　3）

【女　子】

▼会長杯1回戦
SAKURAクラブ 14（8－6、6－7）13 べにばなクラブ
やんちゃクラブ 19（12－4、7－7）11 五ツ星
福島クラブ 20（14－6、6－6）12 北海道倶楽部
筑波学園クラブ 24（16－11、8－6）17 古川ハンドボールクラブ

▼会長杯準決勝
やんちゃクラブ 21（8－9、13－9）18 SAKURAクラブ
筑波学園クラブ 24（14－11、10－9）20 福島クラブ

▼会長杯決勝
筑波学園クラブ 25（12－7、13－9）16 やんちゃクラブ

▼本宮市長杯準決勝
べにばなクラブ 17－10 五ツ星
古川ハンドボールクラブ 19－14 北海道倶楽部

▼市長杯決勝
べにばなクラブ 21（10－4、11－7）11 古川ハンドボールクラブ

がんばれハンドボール20万人会「サポート会員」7月入会・継続会員

【宮　城】千田　文彦、加藤　宏之【群　馬】高橋萬知子、高橋　泉【埼　玉】中野　慶子、宇賀神奈央
【東　京】有田　美恵、河内　鋭雄、安藤　純光、可児友紀子、三善　信明【神奈川】坪井　俊之、花岡美智子
【山　梨】齊藤　實【愛　知】安藤　孝、山田　壮八、西口誠一郎、西口　貴子【三　重】貝沼　圭吾、
福田　亜紀、加藤　祥【京　都】山口　栄一【大　阪】戸谷　克蔵、里村　静俊【和歌山】松本　芳樹、
松本　朋子、大橋　吉次、加藤　照男【福　岡】下田　昭弘【長　崎】石井　通義

【9月の行事予定】

【会　議】
9月17日(土)　常務理事会（東京）
【大　会】
9月14日(水)～23日(金)
第11回女子アジアジュニア選手権
（カザフスタン・アルマトイ）
9月15日(木)～20日(火)
第15回日韓スポーツ交流（派遣・女子）　（韓　国）
9月18日(日)～23日(金)
第15回日韓スポーツ交流（受入・男子）
（岐阜県・岐阜市）
9月21日(水)～26日(月)
第15回日韓スポーツ交流（受入・女子）
（愛知県・名古屋市）
9月23日(金)～26日(月)
第4回女子ユースアジア選手権　（熊本県・山鹿市）

HANDBALL CONTENTS Sep.

（登録チームの購読料は登録料に含む）

(財)日本ハンドボール協会編 『ハンドボール』第五二一号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成二十三年八月二十六日印刷 平成二十三年九月一日発行
東京都渋谷区神南一ー一ー一
電話 代表 〇三ー三四八一ー二三六一
振替 〇〇一二〇ー七ー一〇二九三
編集兼発行人 川上憲太
定価 年間三三〇〇円